

最終 12月 センター試験本番レベル模試

間もなく大学入試シーズン本番！ ベストコンディションで入試に臨もう！

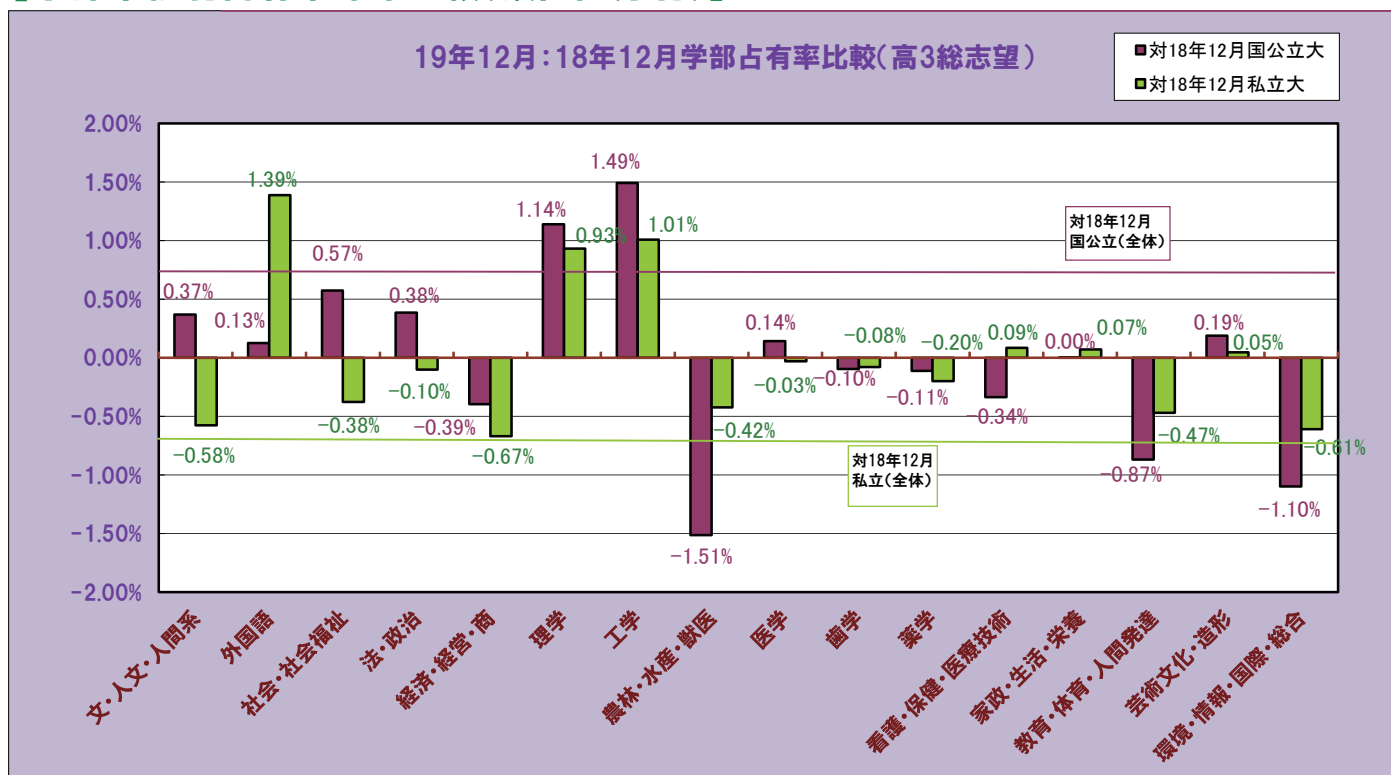
12月15日(日)に実施した「最終 12月 センター試験本番レベル模試」の高3生の学部系統別の志望動向を、昨年同時期に同模試を受験した先輩の志望動向と比較した。

2020年度入試の実質的なスタートとなる大学入試センター試験まで残り1ヵ月弱。

これまでの学習の成果をしっかりと発揮するためには、心身のコンディション調整は重要な要素となる。

自己管理をしっかりと行い、ベストコンディションで入試シーズンを乗り切ろう！

【学部系統別占有率昨年比較(設置区分別)】



【学部系統別指数(設置区分別)】*前年度を100とする

系統別名称	国公立指数	私立指数	総合
文・人文・人間系	101	100	100
外国語	96	97	97
社会・社会福祉	106	99	101
法・政治	102	100	101
経済・経営・商	94	100	99
理学	114	112	113
工学	106	106	106
農林・水産・獣医	87	93	90
医学	107	94	104
歯学	103	86	96
薬学	103	91	96
看護・保健・医療技術	92	98	96
家政・生活・栄養	98	99	99
教育・体育・人間発達	95	96	95
芸術文化・造形	114	101	105
環境・情報・国際・総合	104	93	97

■国公立大

文高理低傾向の中でも近年、特に人気の高かった経済・経営・商学系はその人気の高さを敬遠してか、法・政治系に志望者が若干シフトしている傾向がある。また、同様に人気傾向にあった環境・情報・国際・総合のうち、情報系の人気は堅調なもの、国際系は人気に収束感が見られる。

一方で、志望者数が減少傾向にあった理学系・工学系の学部系統は大幅な人気の回復傾向が見られる。

■私立大

国公立大学と志望動向が異なるのは、社会・社会福祉系、医学系、歯学系、薬学系であるが、社会・社会福祉系は国公立大学では設置している大学が少なく、少数の増減でも指数は影響を受ける点、医歯薬学系は学費の負担に大きな差があり、国公立志向が強いことなどが要因として挙げられるであろう。

※このデータは、2019年と2018年の「最終 12月 センター試験本番レベル模試」について、大学の設置区分(国公立・私立)ごとに学部系統別の総志望者数(統一実施日受験の高3生・第6志望まで)から算出した割合を比較したものである。